

がん保障特約付団体信用生命保険

日本人のおおよそ2人に1人の割合で罹患する可能性のあるがん(悪性新生物)と診断された場合に住宅ローン残高を全額返済できる特約付住宅ローンを取り扱っています。当保険には、連生タイプをご用意しております。

がんと診断確定されたら **ローン残高が0円**になります。

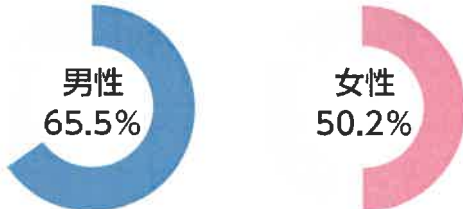
※「上記のがん」(特定の悪性黒色腫以外の皮膚がん)はがん診断確定後の支払いの対象となりません。また、責任開始日からその日を定めて90日(特約期間)以内のがん(特定の悪性新生物)と診断確定された場合には、がん診断確定後は支払われません。

死亡・所定の高度障害状態 医師の診断書等で保険会社に余命6か月以内と診断されたら **ローン残高が0円**になります。

がんの基礎知識 1

がんの罹患リスク

おおよそ2人に1人が一生のうちにがんと診断される可能性があります。

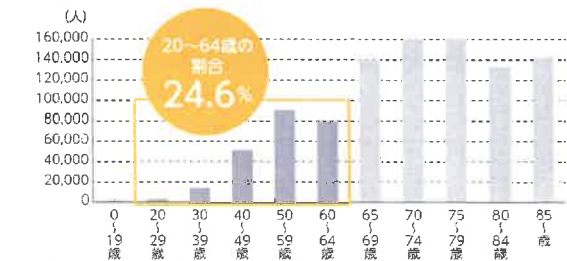


※がんは一般的に年齢とともに罹患率が上昇するもので、ローン返済滞り期間の方の2人に1人が必ずがんになることを意味するものではありません。
出典:公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計2021」年別年齢別罹患リスク(2017年罹患・死亡データに基づく)

がんの基礎知識 2

年代別がん罹患患者数

がん罹患者の約4人に1人は就労世代です。

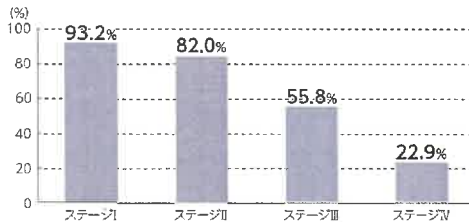


出典:国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」(全国がん登録) 全国がん罹患データ(2017年~2018年)よりクレディ・アクリコル生命が作成

がんの基礎知識 3

全がんの臨床病期別5年相対生存率

「がん」は早期発見が重要です。



出典:公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計2021」全癌がん(既入院)センター登録施設における5年生存率(2010~2012年診断時)

がんの基礎知識 4

がん罹患後の就労状況の変化

(お勤めの方)

がん罹患後に、勤務先を退職する方も珍しくありません。

依願退職した	30.5%
休職中である	8.7%
解雇された	4.2%
現在も勤務している	47.6%
その他	9.0%

43.4%
の方は収入が減少する可能性があります

出典:厚生労働省「がんの社会学」に関する合同研究班「がん経験者の悩みや負担等に関する実態調査報告書(概要版)」より クレディ・アクリコル生命が作成

保険金のお支払いについて

被保険者が保険期間内に次のいずれかに該当した場合、保険契約者(JA)に保険金が支払われ、被保険者が契約している住宅ローン全額が返済されます。

- 死亡・所定の高度障害の状態になられたとき。
- 保障期間内に、初めて所定の悪性新生物(上皮内がん、および皮膚の悪性黒色腫以外の皮膚がんを除く)に罹患し、医師によって診断確定されたとき。ただし、保障の開始時の属する日から90日以内に悪性新生物と診断された場合を除きます。

※「連生がん団信」では、連帯債務者であるおふたりが、所定の加入条件を満たすことが必要となります。
 ※連生がん団信の保険金の支払いによって住宅ローンが完済となった場合、もう一方の債務者(連帯債務者)のローン免除となる部分が一時所得とみなされ、所得者の課税対象となる場合がございます。詳しくは最寄りの税務署にお問い合わせください。
 ご加入にあたっては、保険会社所定の引受審査が必要です。すべての方がご加入いただけるわけではありません。
 団体信用生命保険のご加入にあたっては、「被保険者のしおり」を必ずご一読いただき、保障内容の詳細をご確認ください。